



納豆のネバネバ成分を利用して 台風を弱める方法



■チーム名

帝塚山学院高校 QUAD-TG

■チーム紹介

科学部ですっと一緒に活動している4人組です。普段は、ポリグルパウダーを使った研究を進めています。

■私達が目指す未来の地球(実現したい内容)

台風の大きさを制御し、降水や暴風による被害を抑える。

■どのように実現するか

抱水性に富んだポリグルタミン酸(PGA)を台風内に投与することで、水蒸気を水滴としてはやめに落とし、台風の巨大化を防ぐことができるのではないかと考える。

まずは、PGA が水蒸気を減らしたり抱水したりすることを証明する。

また、どれくらいの量のPGAがどれくらいの水蒸気を引き寄せられるのかを測定する。

これが測定できると、実際の台風の水蒸気量に対して、どれくらいの量のPGAを投与すればよいか検討することができる。

■実現した際の効果

台風の大きさや大雨をもたらす雨雲の大きさなどを制御することができれば、降水や暴風などによる被害を抑えることが可能である。

ただし、台風や雨雲を小さくすることで、別の被害(水不足、別の場所での多量の降水など)が起こる可能性はないのか、検討する必要がある。どれくらいの量のPGAがどれくらいの水蒸気を減らすことができるのかを測定できれば、シミュレーター等で雨雲の変化を予測することができるのではないかと考える。